

エルドアンは“間違った同盟者”：トルコのクルド人弾圧に あがる声

【訳者注】アメリカの西側同盟国からも、トルコ大統領エルドアンの残忍なクルド人虐殺には批判の声があがっている。理性的に考えてそれは当然だが、あえて“反理性”“反人間”を貫こうとする集団が、エルドアンに影響を与えているものと考えられる。そういう者たちがいなかったら、そもそもこのような戦争は起こっていないからである。

RTは報道機関でありながら、国際的人権機関に先駆けて、国連人権理事会に調査を嘆願した。「どう応えるだろうか？」と言っているのは、無視される可能性が大きいということであろう。人権の重さは、西側と中東では全く違うからである。

RT (Russia Today)

March 17, 2016



国連人権理事会（UNHRC）は、RTの、トルコのクルド人居住地に対する残虐行為の調査要求に対し、どのように応えるだろうか？ なぜ、アンカラ（トルコ政府）は国際的な非難を免れているのか？ この地域のこういう現状がどうして改善できないのか？

RTは、クルド人居住区へのトルコの残虐行為とされるものに対し、調査を行うように国連

に申請している。

関連記事：「[RT の請願書 \(Change.org\)](https://www.change.org/p/un-human-rights-council-justiceforkurds-we-urge-unhrc-to-investigate-alleged-mass-killing-of-kurds-in-turkey)：我々は国連人権理事会に対し、トルコにおけるクルド人大量殺害と言われるものの調査を強く要求する」

<https://www.change.org/p/un-human-rights-council-justiceforkurds-we-urge-unhrc-to-investigate-alleged-mass-killing-of-kurds-in-turkey>

先月、クルド人活動家たちが、トルコの南東 Simak 地方の Cizre 市において、トルコ政府が、150 人の人々を生きたまま焼き殺したと非難した。

RT のチームがこの都市へ行き、状況の地上調査を行った。William Whiteman 特派員は、この地帯の完全な崩壊の現場を目撃した。

RT は多くの国際組織と連絡を取り、トルコ軍による市民への残虐行為と言われるものを、調査する計画をしているか、また何らかの声明を出すつもりがあるか、を尋ねた。どの組織も、さまざまな理由をあげて、詳しくは返答しなかった。

トルコは、市民を狙ったことを否定している。そして公的には、そのミッションを“反テロ作戦”だと説明し、違法の「クルド労働者党」(PKK) に対する戦闘を続けるつもりだと主張した。

クルド人人権活動家 Azad Dewani は、「多くの人権団体が、国家の方針に縛られて、独立した報告することができないのだ」と言った。

彼の言葉によると、クルド地域へのトルコ政府のアプローチは、「どんな弾圧的軍事政権とも変わらず、(この地域からの) いかなる独立した報道も常に妨害している。」

「国際共同体は、トルコのクルド人の窮状に対する責任を全く感じていない」と彼は RT に語った。「EU はその移民問題で忙しく、トルコにまで手が回らず、EU のある者はすでに、人権に関してはエルドアンに譲歩しているようだ。アメリカもまた、トルコを重要な同盟国と考えているので、クルド人居住区での人道に反する犯罪を現実に批判することで、トルコ政府を煩わせないようにしているのだ。」

ベルギーの欧州議会議員 Gerolf Annemans は、西側がトルコと「同じ船に乗る」のは間違いで、同盟は解消すべき時がきていると言った。

「西側のトルコ政権との連携——NATO であろうと EU であろうと——は、我々が間違っただ友人（味方）をもっていることを示すものだ。我々は、彼ら [エルドアン政府] がトルコ人に対してだけでなく、ジャーナリスト、言論の自由、あらゆる西洋的価値に対して、何をしているかがわかっている。我々は今、エルドアン氏および彼の政権と、同じ船に乗り込んだのが失敗だったことが、はっきりわかった。彼は間違っただ同盟者だ」と、彼は RT に話した。「エルドアンが西洋的価値を尊重しないことがわかった以上、私は言う——トルコとのこの同盟をやめよ。エルドアン氏には、彼の人間を扱ったやり方に対して、代価を払わせよ。」

「クルディスタン（クルド国）はいつかは独立国になるだろう。そうなるのが歴史的必然だ」と、同議員は言った。



関連記事：「クルド人のために正義を！ RT は、国連が、トルコのクルド人市民殺しと言われるものを、調査することを要求する」 <https://www.rt.com/news/335920-justice-kurds-turkey-petition/>

英労働党党首 Ken Livingstone は、トルコ政府はクルド人に選択を与え、国民投票によって自分の将来を決めさせるべきだ、と言っている。

「クルド人がトルコにいながら、トルコにいたくなかった時代は、これでほぼ 100 年続いている。かなり平穏無事だったこともしばしばあったが、彼らはトルコ議会で代表を出せないことが多かった。それはオスマントルコの遺産だ」と彼は言った。「私はトルコ政府が、我々がここイギリスでやったことを、やるべきだと思う。そのときスコットランドの多くの人々が、独立を希望すると言っていた。我々は彼らに、国民投票を実施して決定することを認めた。クルド人も、トルコに留まるべきか、クルド共和国を作るべきかを、選択させるべ

きだ。」

「問題は」とリビングストーンは RT に話した、「多くの人々が今、トルコを熱烈に支持していることだ。」それは彼らが、トルコを、戦争を逃れてきた「シリア難民の防波堤」と見ているからだ。

「彼らはトルコが、潜在的な安定力になると見ている。政府もメディアのあるものも、これにはそっぽを向くだろうが」と彼は付け加えた。



関連記事：「クルド人の支配する地域は、シリア北部の連邦を宣言している——メディア報道」 <https://www.rt.com/news/335951-kurds-federal-system-syria/>

トルコへの前シリア大使 Nidal Kabalan 博士は、トルコは「現在続行中の、国境を通り抜けるテロリストの流れをコントロールする」という、ポジティブな役割を「一度ためしに」やってみるべきだと言った。

彼の提案は、「エルドアンとアフメト・ダウトオール (Ahmet Davutoglu) と彼らの政府が、トルコのクルド人たちとの平和会談を続行し、彼らがトルコ社会の大きな構成要素であることを保証する」ことである。

「そうすれば、トルコとシリアは、トルコがテロリストを支持し、財政援助し、国境を通過させるのをやめた後で、前向きに協力することができるはずである。それは、シリアとトルコの両方で、クルド少数民族の野心と目的を取り込むという問題の、解決になるだろう」と彼は言った。

かつて米下院議員だった **Cynthia McKinney** 女史は、RT に寄せたコメントに、こう書いている——「もしトルコが、クルド人の“カード”が自分たちに対して切られることを望まないならば、彼らは、その政策を変えて、トルコのクルド人が、他国のクルド市民と同じような承認と尊厳と尊敬を得られるように、クルド人の不満を議題にのせるべきである。トルコがそうしないで、自国国境内で生活するクルド人を虐殺するならば、トルコは、人道に対する犯罪という国際法を破ったことになり、ジェノサイドの罪を深刻に問われることになるだろう。」